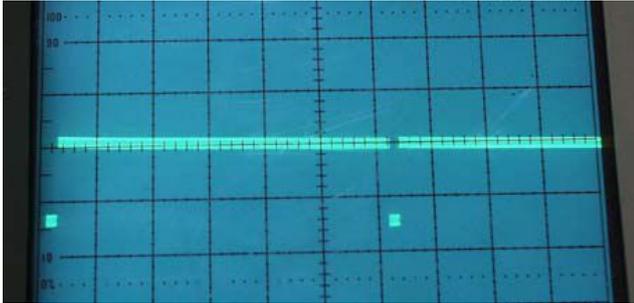
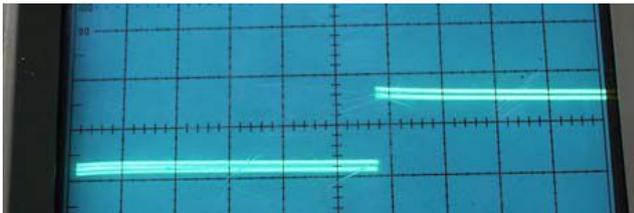


最大速度を得るには、半固定ボリューム P1 も調整する必要があります。これでほぼ最大 99% のパルス幅が得られます。



さらに、増やすと突然速度が低下する場合があります。このとき、波形はこのようになっています。



このときモーターの速度は 10% から 20% 落ちており、実感できます。

**注記:**

このキットの電源電圧を変えたときは同じボリューム位置でも速度が変わりますので、再度ボリュームを調整する必要があります。また、熱(周囲の温度および IC 自身の温度)により、556IC が影響され若干速度が変わりますので、再度ボリュームの調整が必要です。この熱による影響は R6 を大きくすると(たとえば 100 Ω あたり)、ほんの少し小さくなります。いずれにせよキットの周囲温度や IC 自身の熱により、回転速度が変わりますので、最大速度で連続して使用の場合は、数分モーターを回転させて、キットが安定した状態で再度調整してください。

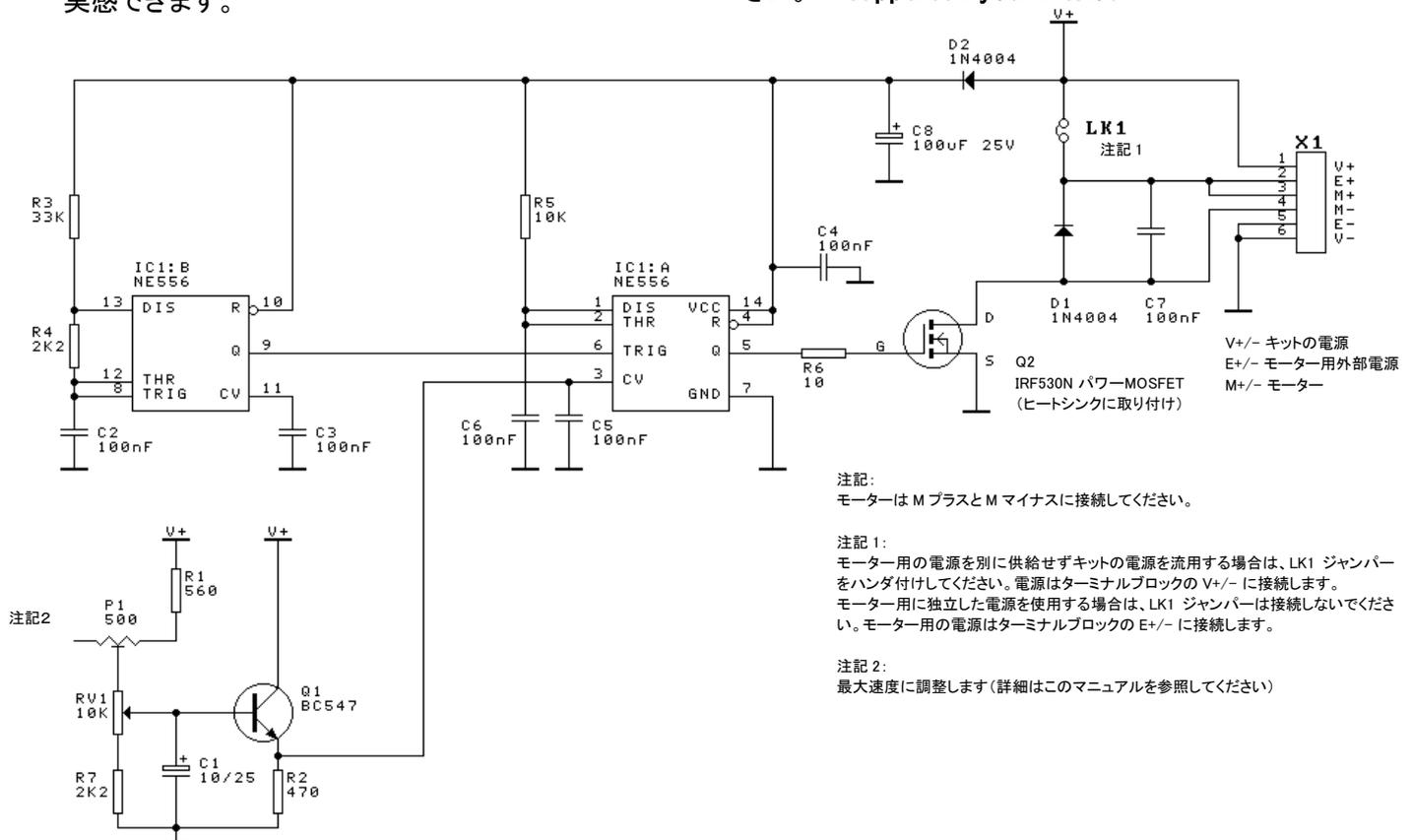
ボリュームをまわしてもパルス幅が 99% にならないようであれば、抵抗 R1 を PCB 裏面(ハンダ面)でショートさせ、再度ボリュームをまわしてください。556IC のメーカーやロットによっては、この抵抗 R1 の調整が必要な場合があるようです。おおむね 400 Ω、650 Ω、800 Ω で最大になる場合があります。

**問合せ先**

関連する詳細資料は以下のマイコンキットドットコムの WEB サイトから入手してください。

<http://www.mycomkits.com>

不明な点は下記の Email アドレスにお問い合わせください。  
[support@mycomkits.com](mailto:support@mycomkits.com)



注記:  
 モーターは M プラスと M マイナスに接続してください。

注記 1:  
 モーター用の電源を別に供給せずキットの電源を流用する場合は、LK1 ジャンパーをハンダ付けしてください。電源はターミナルブロックの V+/- に接続します。モーター用に独立した電源を使用する場合は、LK1 ジャンパーは接続しないでください。モーター用の電源はターミナルブロックの E+/- に接続します。

注記 2:  
 最大速度に調整します(詳細はこのマニュアルを参照してください)